

管となり、地域の特性を生かした見守り・ふれあい交流活動を展開する地区社協の新規設立を目指している。平成28年度は新規設立・運営マニュアルを整備し、29年度以降は大塚地区社協の成果等をPRするとともに、各総代会と話し合い、新規設立に取り組む。

青山義明 (自民党市議員)

大型クルーズ船誘致について

10月1日に「ばしふいっくびいなす」が三河港蒲郡地区に初寄港するが、大型クルーズ船が来た際の受け入れ体制は。

開港50周年を迎える三河港蒲郡地区並びに蒲郡市として心を込めたお出迎え、お見送りをし、次回以降の寄港につなげていきたい。今後は、他市の状況を調査し、本市としての取り組みを検討していく。

三河港蒲郡地区への今後の寄港の見込みは。

具体的な話はないが、物流拠点として11号岸



初寄港した大型クルーズ船「ばしふいっくびいなす」

壁のさらなる利用促進を図る中で、支障のない範囲で大型クルーズ船に寄港していただきたいと考えており、官民一体となって誘致活動を進めていきたい。

登山を含めた観光振興を

五井山頂上にあるNTTの施設の柵の撤去について伺う。

NTTから土地の譲渡を受ける場合には、今後の活用方法を検討する中で、柵の撤去も考えていく。

稲吉郭哲 (自由クラブ)

ごみ屋敷対策は

ごみ屋敷問題への今後の対応は。

本市のごみ屋敷問題は行政代執行を含む一時的な行政処分での解決は難しく、原因者の生活支援を含めた総合的な対策の検討が必要である。今後、関係部局で組織する対策検討会議を立ち上げ、連携の仕組みを整え、条例等の制定も検討する。また、ごみ屋敷の早期発見やごみ撤去後の支援、見守りなどで地域の協力は必要不可欠であり、地域住民とのさらなる連携等の強化も重要だと考えている。



名鉄西尾・蒲郡線の存続は

平成33年度以降の存続についての考えは。

蒲郡市、西尾市ともに名鉄西尾・蒲郡線は地域の重要な資源であり、名古屋鉄道による運行の継続が最良だと考えている。両市での利用促進が重要であり、32年度までに新たな利用促進策を打ち出し、33年度以降も恒久的に運行が続くよう知恵を絞っていく。

広中昇平 (自由クラブ)

クロアワビの陸上養殖について

市としてどのように評価しているか。

蒲郡産アワビを生み出し、地域ブランドにつなげたいとの考えで事業を始めたが、目的のひとつである陸上養殖技術の確立はできておらず、事業化は難しい状況である。一方で、三谷水産高校生の取り組みとしては、様々な実験を行

いながらアワビの飼育技術や知識の蓄積ができ、意義ある活動となっている。また、アワビの陸上養殖に関わりたいたいという思いから入学した生徒がいるなど、入学希望者の増加につながったと聞いている。

高齢者割引タクシー制度の利便性向上を

運転免許証を自主返納した方にタクシーチケットの配付枚数を増やす、割引率を上げるなどを検討してはどうか。

配付枚数の変更は可能かと思う。割引率の変更は、料金支払いの際に運転手の負担が増えるため、タクシー会社及び運転手の理解が必要だと考える。

